

ごみは資源だ!

循環型社会の実現に向けて

毎年、年末にかけて、沖永良部クリーンセンターには、大量のごみが搬入されていますが、それらのゴミの中には、きちんと分別されていないものや、まだまだ使えるものなどが多く見られます。平成23年度において、町民一人あたり年間に約279キログラムものごみを排出しています。私たちが生活をするうえで、ごみは必ずでるものです。しかし、今やごみ問題に関連して発生している環境や資源などの諸問題は、私たちの身近な問題として避けては通れないものとなっています。

このような中、近年は、ごみそのものの発生を抑えたり、従来はごみとして捨てていた物を再利用したりして、ごみとして処分する物をできるだけ少なくする「循環型社会」が進められています。物質の循環が実現し、資源の消費が抑えられ、環境への負荷をできるだけ少なくする社会の実現に向けた取り組みについて考えてみたいと思います。



もえるごみに混入していた不燃物

センターの運営費や人件費がかかり、その額は平成23年度決算額で2億3994万円(知名町負担分のみ)となっています。1トンあたり約13万円かかる計算です。ただし、ごみが正しく分別されていないことが原因で、焼却設備が故障した場合、運転を止めなければならず、これにより莫大な費用が新たににかかることがあります。今後ともごみの分別の徹底をよろしく願います。

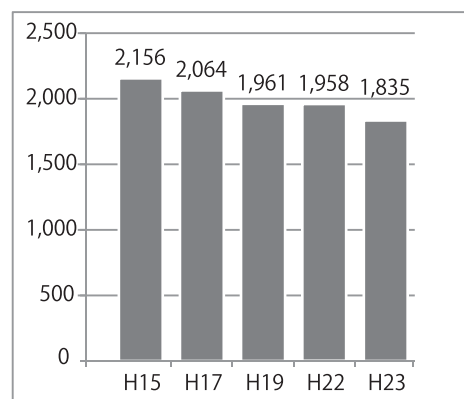


処理費用は2億3994万円!

排出されたごみは、沖永良部クリーンセンターに運ばれ、処分されます。これらのごみを処分するために、クリーンセンターの運営費や人件費がかかり、その額は平成23年度決算額で2億3994万円(知名町負担分のみ)となっています。1トンあたり約13万円かかる計算です。

本町ではこれまで、ごみの減量化や分別化の徹底を含め循環型社会の実現をめざし、ごみ処理の有料化やマイバッグ運動普及啓発活動の推進などの施策を展開してきました。また、このことについては、これまで町民のみなさんにも協力をいただいで地域や家庭で積極的に取り組んでいただいているところです。

本町のごみの総排出量(単位:トン)



知名町のごみの量ってどのくらい??